

質問1 動画＋設問 Two-way講座（「行動力」を身につけよう！の報告）へのご感想をお聞かせください。

【自由記述】

・「怪しげなサイトに登録できない」という気持ちを持つことは理解できないことはないが、大学の講義内で登録を促すサイトまでそのように見られるのは理解できない。単にやる気がなく、講義に積極的に参加しない理由にしているのではないかと感じます。

・久保田さんの魅力が100とするとそのうちの5くらいしか伝わっていないように思って非常にもったいないと思いました。もっと久保田さんの魅力が伝わるコンテンツにしたら良いと思いました。DPPの導入モチベーションは話者の魅力に依存する部分が大いなので、なおさら久保田さんの魅力を活用すべきと思いました。

・授業内容の構成も充実しており、動画を多用し飽きの来ない内容で学生の時にこのような授業だったらもっと勉強したかもしれないと思いました。やはり一番気づかされるのは、スマホでの参加者が少なくてもある程度参加してくれば一緒にできる輪の中に入っていける事を実証したことです。この事例を、やり続ける事に意味があると思います。

・久保田理事長自らの大学での授業模様の報告は、今時の大学教室を活写して臨場感に満ち、DPPの必要性を伝えて心地くワクワク感を持って聞きました。これはまた秋田先生のファシリテーションの賜とも言えます。

・実践的DPPコンテンツの原型が出来上がって来た実感しました。テンプレート化されて行けば便利になりそうです。

・QRコードで設定をしなかった学生から、設定をしない理由を聞きこむと、より利用者フレンドリーな対応が可能になるのではないのでしょうか？

・久保田理事長のプレゼンが非常にためになりました。今の若者の行動がよくわかりました。DPP登録数が少ないのが残念です。登録をしていただくのは今後の課題だと思います。

・登録してくれない人たちも、相互やり取り、リアルタイムな反応でなんとなく興味を持つというのはそうだと感じる 引き付ける為のきっかけに十分なりえるとおもう。

・正味80分の講義について、詳細にもかかわらず、コンパクトに短時間でご紹介くださった。当日、現場にいたものとしては、あらためてその時の光景がよみがえり、感動しました。DPPを効果的に使用することによる効果を再認識しました。そして、いかに効果的に使用するかは、これから事例を積み上げながら研究していく必要があると思いました。

・DPPの設問で設定された選択肢には一考の余地があるように思えました。（1. そう思う、2. どちらかといえばそう思う、）のように選択肢を増やすことには意味がある

のでしょうか？

・口座としてはDPPに引き寄せる実感があったとのこと。
生徒からの感想が6名程度ではあるが内容が物語っていた。
DPPを初めて利用してもらう時の登録等に対するハードル対策が課題。
紙ベースでいいので利用しなかった理由のアンケートを取ってもいいのかもしれない。

・わかりやすかった。

・特にございません。

【自由記述】

- ・ Skype+DPPはイメージが湧かなかったです。
技術的に可能でも、実際の使用に耐えうるのとは違うため、デモなどで確認したい。
- ・ 講師がコメントを返せる機能は素晴らしいアイデアでぜひ進めていただきたいと思いました。
- ・ 課題について適宜対応している様子がわかり大変良いと思います。
- ・ いつもながらの、速い対応に感心しています。
- ・ 限られた人員と予算で、よく対応されていると思います。
- ・ 登録の仕方の問題点あるようです。個人情報の問題点は課題です。
- ・ 登録してくれるかどうかは大きな問題。講師が「価値ある講義をすれば、参加したいと思わせることができれば」登録してくれる。そうでなければめんどくさいから登録しない ということなのか・・・
- ・ 丁寧にフォローくださっていることがわかり、たいへんありがたいです。一方で、すべての要求を満たそうとするとたいへんですし、出来上がったシステムの使い勝手が心配です。その点を考慮いただきたいと思います。
- ・ DPP一般利用において、KK2WEBサイトへの参加者登録を簡易化する、というロードマップが敷かれたと認識しました。
- ・ skypeを利用した実験をぜひやりたい
- ・ ログイン方法をわかりやすくできないでしょうか
- ・ 特にございません。

【自由記述】

- ・あまりよくわかりませんでしたが進展しているらしいと思いました。
- ・わかりません。
- ・登録というひょっとしたら若者にはアレルギー感のある言葉でなく、DPPのレスポンス・アナライザー機能での授業への参加・双方向化がもっぱらの目的であり、その繋がりのために必要だと表現するのが良いと考えます。学生はレスポンス・アナライザーによる双方向授業を目の当たりにすれば、やりたくなるのは間違い無いと思います。更には、当該授業の履修登録時に履修者自ら、或いは履修者リストに基づき教務課、教員自身、TA(授業補助者)、アルバイトのいずれかにより登録するのが問題なく良いかとも思います。
- ・アプリにすると、かなり経費がかかると聞いていますが、DPPに今までより多くの学生を呼び込むためには、再度アプリ化を検討する必要があるのではないのでしょうか？
- ・受講者にKK2に登録させるのがいまだに大きな壁のよう。国士館も二松学舎も学生の出席はIDカード(学生証でピッさせるとのこと)またMANABA https://manaba.jp/case_study/ が現在大学ではスタンダードのよう 生徒個人の学習履歴が取れないと聞いたがポートフォリオがDPPでいうところのMYページのようリアルタイムなやり取り、集計結果等は(株)レスポンスを利用 <https://respon.jp/> を使うようだ DPPとどう差別化するか
- ・簡易登録機能を楽しみにしています
- ・「記述式回答への講師からのコメント」機能の追加はよいと思います。(これが”DPP大学向け仕様”なのかはよくわかりませんでした)
- ・講師から生徒への回答だけでなく、生徒から講師への質問があったときのお知らせメールもあったほうがいいのではないか
- ・ログインなど課題が多くあると思います。頑張ってください。
- ・学生はKK2Web会員登録することになるが、世の中、個人情報の取扱いが過剰反応している。個人情報(氏名・メールアドレスなど)の登録にあたり「問題ないですよ」と安心させる説明が必要と感じました。30秒程度の動画を見せるとか。
- ・通信料の負担についても同じく説明が必要と感じました。

質問4 第6回教育のデジタル化研究会の内容はいかがでしたか。

No	解答	人数	%
1	十分満足できた	4	31%
2	満足できた	7	54%
3	あまり満足できなかった	1	8%
4	満足できなかった	0	0%
5	どちらとも言えない	1	8%
合計		13	

